

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和4年度病虫害発生予察技術情報第13号について (送付)

このことについて、病虫害発生予察技術情報第13号(イチゴの炭疽病潜在感染状況)を発表したので送付します。

技術情報第13号

- 1 対象作物名：イチゴ
- 2 病虫害名：炭疽病
- 3 これまでの発生状況

1 1月2半旬に県下8か所の親株から複葉を採取し、エタノール浸漬法による炭疽病の潜在感染株調査を行った。潜在感染株率、潜在感染株確認ほ場率ともに前年並であった。

- ・潜在感染株率 45.0% (前年 46.7%)
- ・潜在感染株確認ほ場率 100% (前年 100%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は主に雨媒伝染で感染が拡大する。ほ場で発病株を確認した場合は、発病株や周辺株を速やかに除去・処分し、発病の拡大防止に努める。
- (2) 発病後に治療できる薬剤はないことから、感染を防ぐため、3月上旬の親株床から育苗終了時まで定期的な予防散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- (3) 降雨前後や摘葉後は、防除を徹底する。
- (4) 風雨による感染を防ぐため、雨よけによる採苗、育苗が望ましい。その場合は、かん水は点滴チューブなどを用いて株元に行う。
- (5) 親株からの感染を防ぐため、採苗及びプランナーの切り離しはできるだけ梅雨前に行い、親株を除去する。
- (6) 育苗床の湿度が高いと発病しやすいため、苗の間隔を空け、風通しを良くする。
- (7) 窒素肥料を多用すると発病しやすいため、適正な肥培管理に努める。



写真1 炭疽病による葉の汚斑



写真2 炭疽病による葉柄の褐変

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

- ①福岡県病虫害防除所のホームページ
URL: <https://www.jpjn.ne.jp/fukuoka/>
または右のQRコード



- ②Twitter (ツイッター) の
本アカウント (福岡県農作物病虫害情報)
URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka
または右QRコード

